



診療科のご案内

大阪母子医療センター 脳神経外科



小児脳神経外科専門施設です



私どもは、小児脳神経外科専門の施設で、新生児から成人までの小児脳神経外科疾患を取り扱っています。1991年7月に開設され、31年の歴史があります。2022年3月に竹本理部長の定年退職に伴い（週2回の外来は継続中）、千葉泰良が部長に就任しました。現在は、日本脳神経外科学会専門医（指導医）2名と専攻医1名の常勤医3名体制となっています。2022年4月に赴任した橋本医師はてんかん専門医、脳血管内治療専門医も取得しています。てんかんや脳血管異常に対する血管内治療にも対応できるようになりました。



橋本医師

千葉部長

森口医師



◆脳神経外科 外来予定表

曜日	時間帯	外来	担当医師
火曜日	午前	再診外来	竹本理
水曜日	午前	初診/再診外来	橋本洋章
	* 第2/4午前	初診外来	千葉泰良
木曜日	午前	再診外来	竹本理
	午後	初診/再診外来	千葉泰良
	* 第3午後	てんかん外科外来	貴島晴彦 谷直樹
	* 第1/2/5午後	‘あたまの形’ 外来 胎児外来	橋本洋章
金曜日	午前	初診/再診外来	千葉泰良 橋本洋章
	午後	痙縮外来	橋本洋章
		処置外来	当番制

◇ 2018年4月からは、てんかん外科外来と“あたまの形”外来を始めました。
◇ てんかん外科外来は、大阪大学より貴島晴彦教授または谷直樹助教に来ていただき、診療・手術を行います。院外・院内からの初診を受け付けています。まず、受診していただき、てんかんに対する外科的治療の効果について検討し、手術治療を行います。

- ◇ “あたまの形”外来では、少しあたまの形が気になるご両親が、気軽に診察を受けていただけるよう「紹介状なし」でも診察を受け付けます。CT、レントゲン、視診などで、あたまの形を評価します。頭蓋縫合早期癒合症などの疾患が見つければ治療を勧めます。
- ◇ 乳児の寝癖(頭位性斜頭蓋)のお子さんは、頭蓋矯正ヘルメット(自費)による矯正が可能です。希望がありましたらヘルメット作成施設(会社)を紹介いたします。

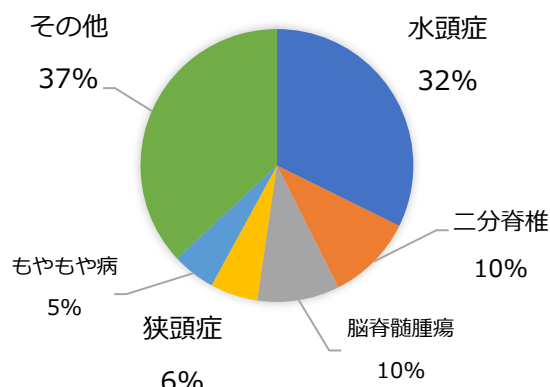




機能的脳神経外科（痙縮・拘縮、てんかん外科）治療、 神経内視鏡手術にも積極的に取り組んでいます。

- ◇ 二分脊椎や水頭症、脳腫瘍、狭頭症、もやもや病、くも膜のう胞などの一般的な小児脳神経外科治療だけでなく、機能的脳神経外科治療（痙縮・拘縮の治療、てんかん外科治療）、神経内視鏡治療にも積極的に取り組んでいます。
- ◇ 痙縮・拘縮の治療は、ボツリヌス毒素製剤（ボトックス・ナーブブロック）の施注やバクロフェン髄注療法を行います。
- ◇ てんかん外科手術は、大阪大学より貴島晴彦教授または谷直樹助教に来ていただき、一緒に手術をしています。当院での手術が難しい場合は、大阪大学で手術を行うこともあります。
- ◇ 神経内視鏡は水頭症・のう胞性疾患に対する開窓術・脳腫瘍の生検術などに活用しています。神経内視鏡技術認定医が治療に当たります。
- ◇ いろいろな脳神経外科疾患や軽微な頭部外傷の経過観察入院なども積極的に受け入れさせていただきますのでご連絡ください。

2021年手術内訳：195件



患者さんへの丁寧な説明と医療機関への迅速な報告を心がけています。

患者さんやご家族には、外来で治療方法やリスクについて説明します。ご理解、納得していただいたうえで入院し、手術直前に、再度説明をいたします。手術後は、病棟担当医から、日々の経過についてお話をいたします。

ご紹介くださった先生には、初診時に治療方針についてご報告し、手術となった場合は、手術後退院した後に、治療経過や今後の方針についてご報告します。



脳神経外科
ホームページ

子どもの手術は当センターにお任せください

- ・小児の麻酔、看護に精通しています。
- ・チームでの医療を実践しています。
- ・家族の付き添いが必須ではありません。



泉北高速鉄道 光明池駅 徒歩 5 分

大阪母子医療センター

初診予約：患者支援センター ☎594-1101 和泉市室堂町 840 TEL0725-56-1220（代表）

FAX **0725-56-5605**（24 時間受付：午後 7 時以降受領の FAX の回答は次の受付開始後です）



（2023 年 1 月発行）